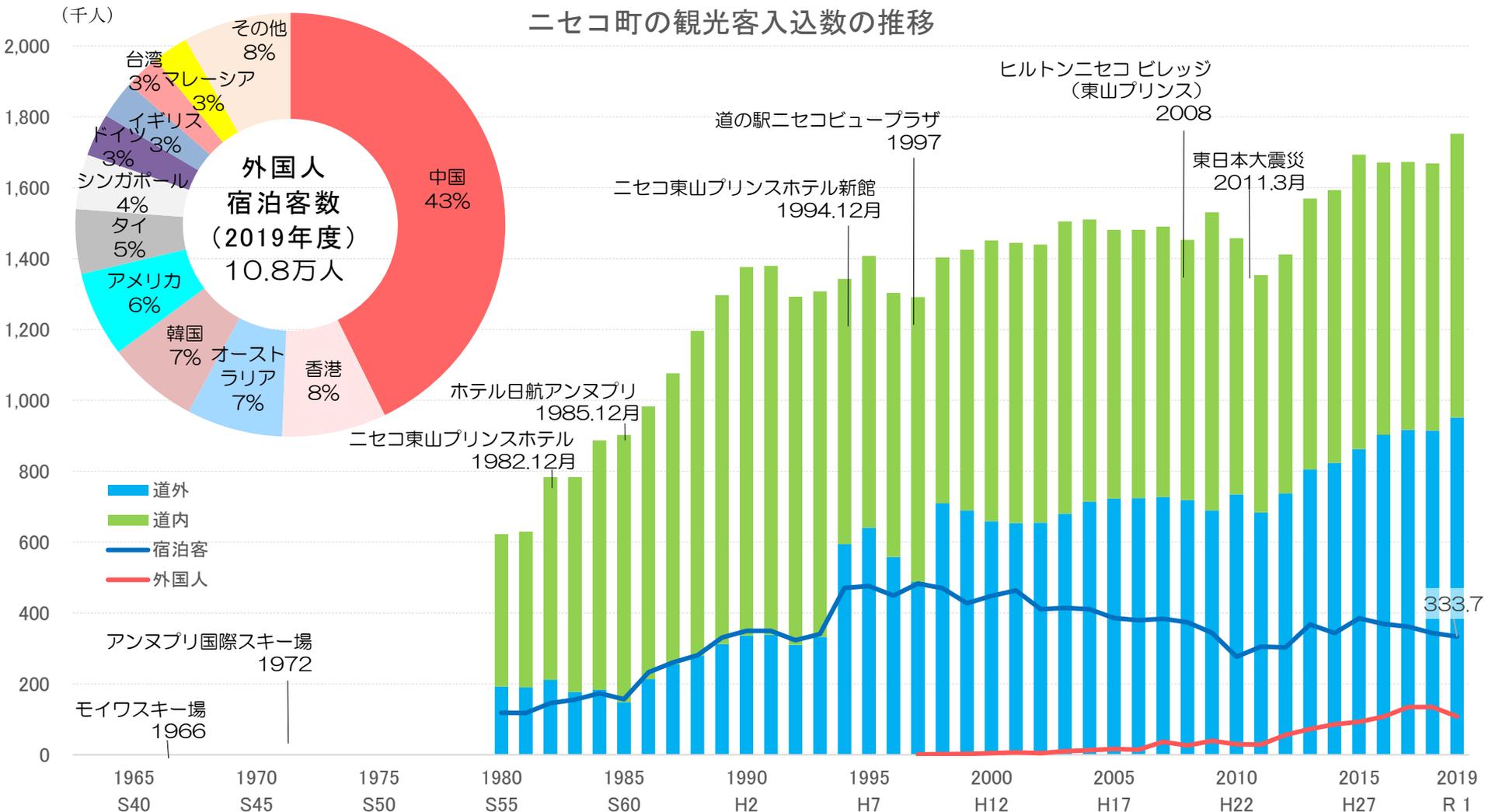


# ニセコ町の観光入込客数



○ ニセコ町は、アンヌプリ、東山等のスキー場が開設され、1975年以降のスキーブームには、東京など全国からスキー客が訪れるようになりました。2000年代に入って、道の駅や夏季のアクティビティ等を楽しむ観光客が増加し、冬の入込客数を上回るようになりました。近年は、海外からスノーリゾートの魅力が注目され、東アジアや豪州の観光客が増加し、夏冬拮抗した入込となっています。

## ニセコ町の観光客入込数の推移



(資料) 北海道経済部「北海道観光入込客数調査報告書」



○「ニセコビュープラザ」では、ニセコ町で収穫された新鮮野菜や特産品などを買求めることができます。直売所のほかにも、トマトなどの野菜を使ったスイーツや、自家製ソーセージ、アイスクリーム食べることができます。

道の駅には、年間60万人が訪れ、農家が出店する直売所の販売額は、3百万円に上ります。



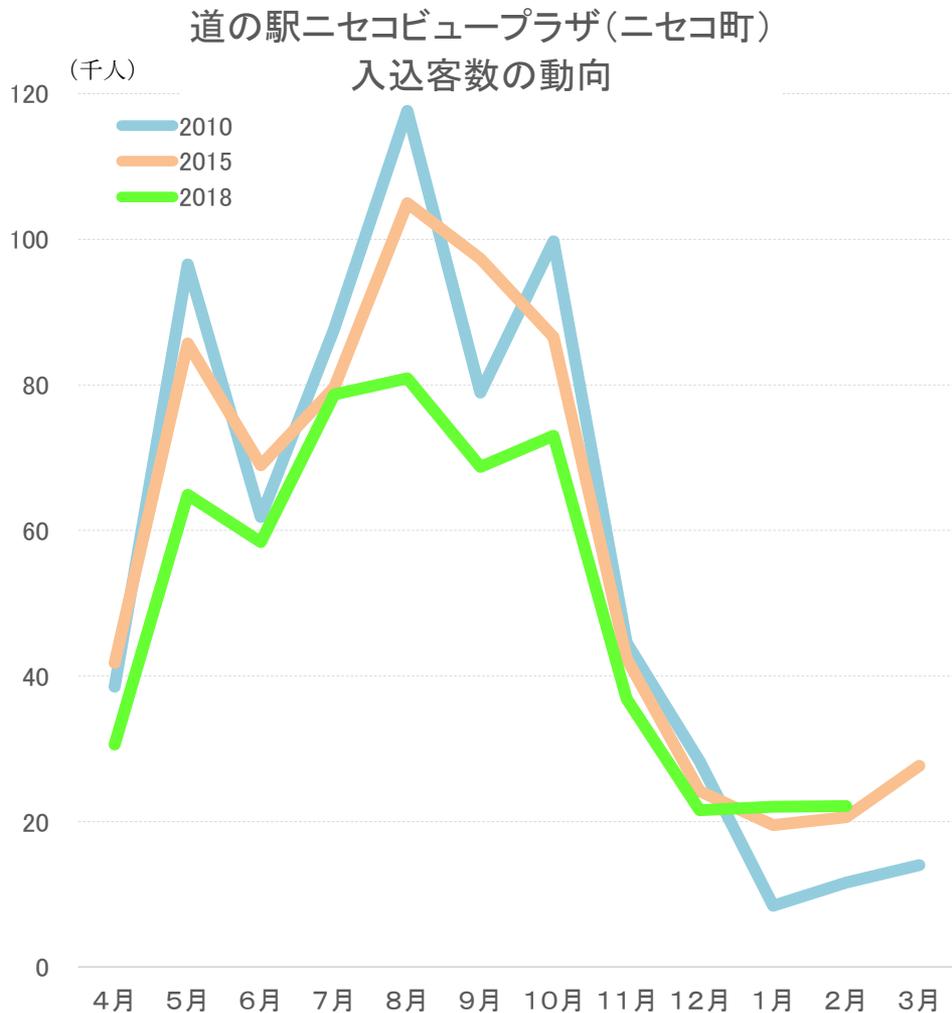
ビュープラザの全景



野菜類の直売所



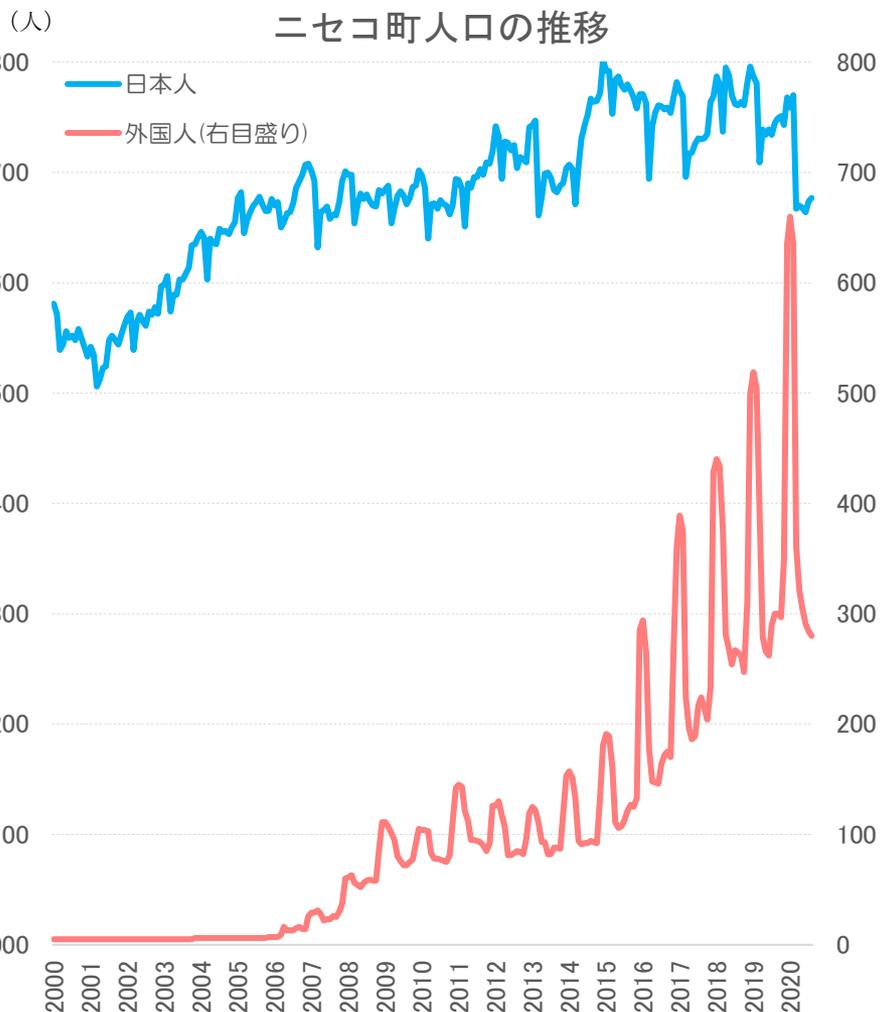
地元の食材で農家料理を提供



(資料) 北海道経済部「観光地点動向調査」

○ ニセコ町では、冬季の外国人観光客の増加に伴い、観光関係の仕事に就く外国人住民も増えてきています。近年では、年間を通じて町内で暮らす外国人も多くなっています。

このため、2011年に、「北海道インターナショナルスクールニセコ校」を開設しました。これは、国籍を問わず、就学前から6年生まで、西洋スタイルの教育(授業は英語)を提供する、民間学校です。

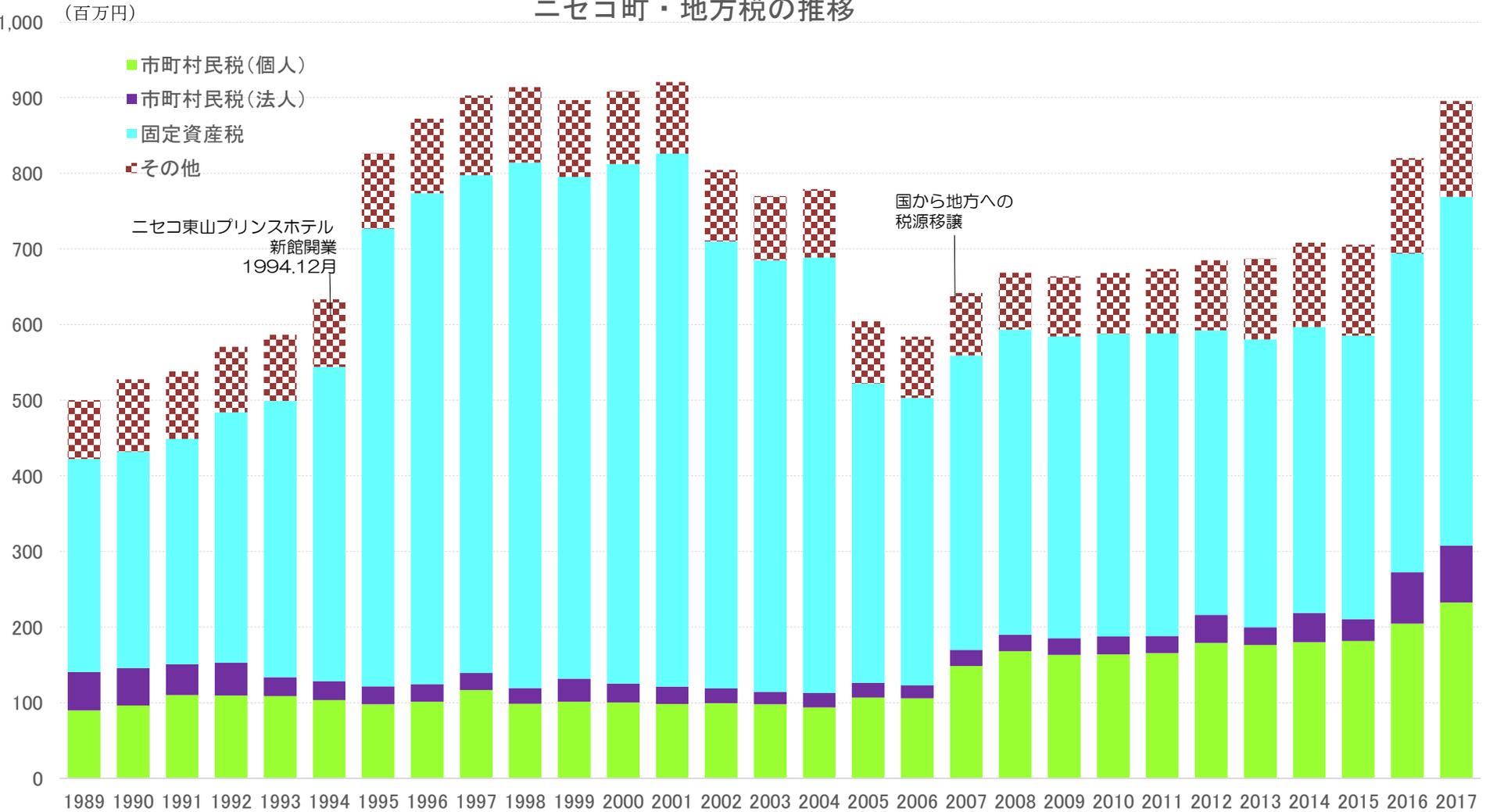


- ニセコ町では、海外からの観光投資と定住外国人の増加が進んでいます。これに伴い、外国人による教育環境の充実を望む声があがっていました。
- 一方、町は、「小さな世界都市」を目指し、働きやすく定住しやすい環境の提供、ニセコ小中学校の生徒を中心とした町民にさまざまな文化的刺激を提供する、国際交流の新たな展開を創造していく等を、まちづくり方針として掲げています。
- このような背景の下、旧ニセコ幼稚園舎を国際交流施設として改修するとともに、施設をHISへ無償貸与することとし、2012年1月に「HIS ニセコ校」を開校しました。
- 2018年では、Mp1(5～7歳)11人、Mp3(8～11歳)6人、EY(3～4歳)10人の3クラスで授業が行われています。



○ ニセコ町では、1990年代半ばのリゾート施設の建設により、固定資産税が増加しました。近年では、個人住民税が増加傾向にありました。

## ニセコ町・地方税の推移



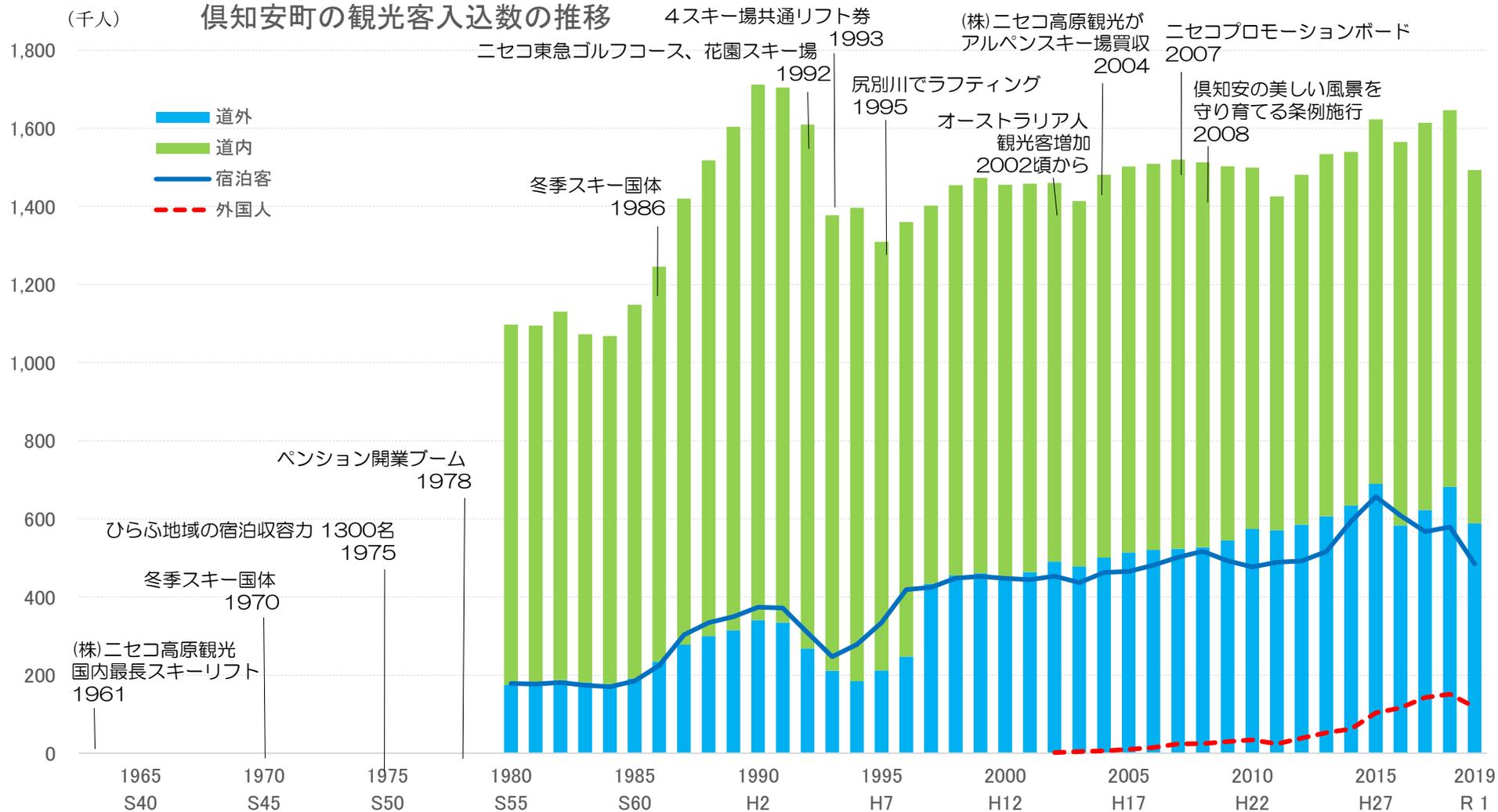
(資料) 総務省「地方財政状況調査」

# 倶知安町の観光入込客数



- 観光客入込客数は国内のスキー人口の増加に伴って拡大傾向にあり、1990年には170万人を超えましたが、バブル崩壊によって1995年には約130万人まで落ち込みました。
- 1990年代までは日本人観光客が大半でしたが、2000年代になるとオーストラリア人をはじめ、インバウンド客が急増し、2018年には約165万人の観光客が訪れました。

## 倶知安町の観光客入込数の推移



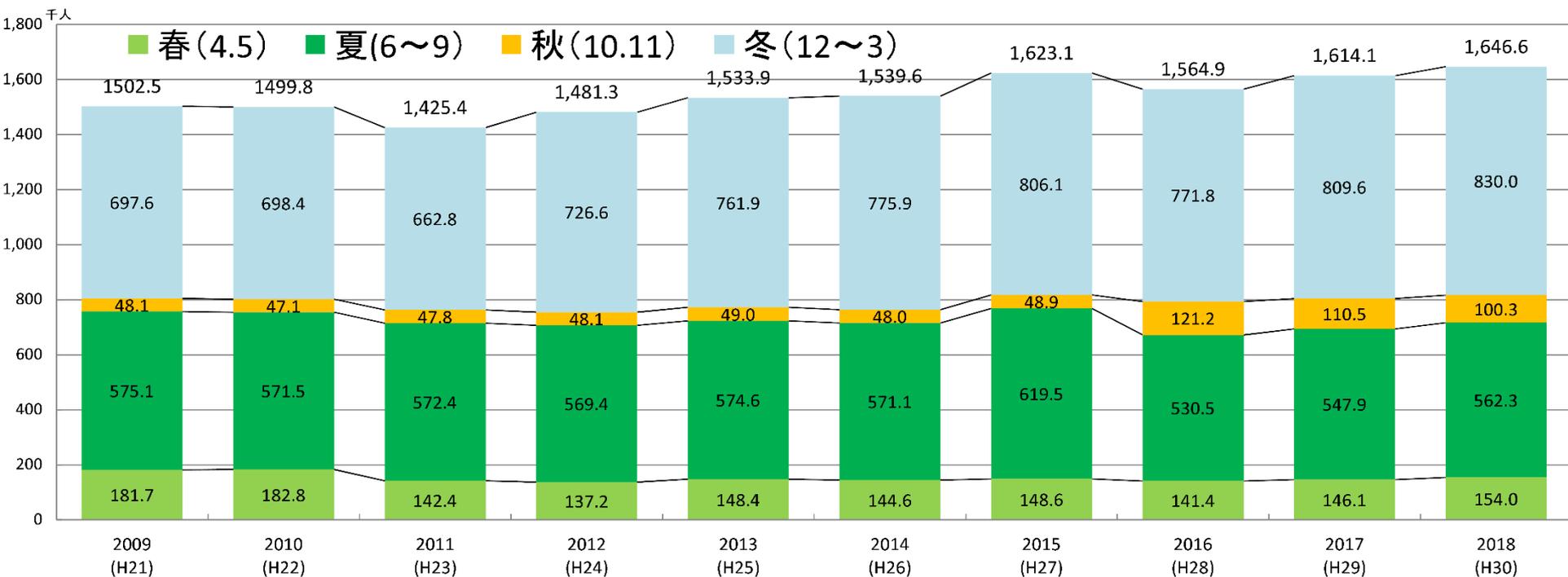
(資料) 北海道経済部「北海道観光入込客数調査報告書」

# 近年の倶知安町を訪れる観光客の動向



- 倶知安町の観光入込客数の約半数は冬季(12月～3月)に集中しており、春と秋の入込が少なく、繁閑差が大きくなっています。
- 冬季の観光では、外国人観光客が多く、延宿泊数で見ると約8割が外国人となっています。一方、冬季以外の時期では、修学旅行や通過型の日本人観光客が大部分を占めています。
- 季節による観光客の繁閑差が大きいことから、宿泊施設等での通年雇用や飲食店の通年営業が難しくなっているという課題があります。また、観光客がニセコエリアに、一時期に集中することによって、ホスピタリティの質の低下や観光資源の劣化に結びつく懸念もあります。倶知安町においても、通年型リゾート地への脱皮が求められています。

図 季節別にみた観光入込客数(倶知安町)



(資料) 倶知安町「倶知安町における投資状況と地域経済」(2020年1月 第2回スノーリゾートの投資環境整備に関する検討会資料より)

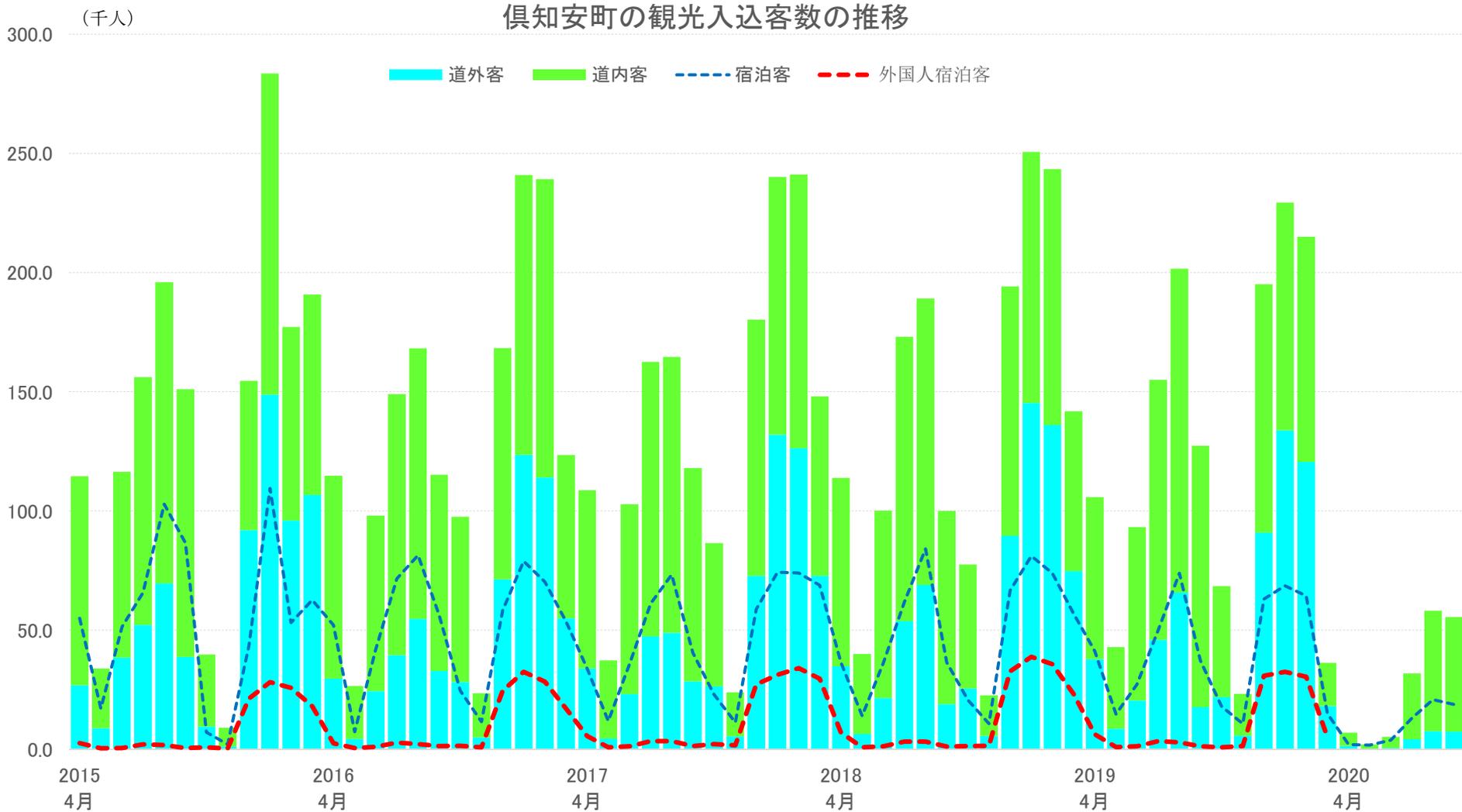
# 近年の倶知安町を訪れる観光客の動向



○ 近年は、冬季(12月～3月)の観光客数が特に増加傾向にあり、これは、冬季の外国人観光客(宿泊客)の増加によるものとなっています。

宿泊客は、夏季にもピークがありますが、外国人の宿泊者は増えていません。

倶知安町の観光入込客数の推移



(資料) 北海道経済部「北海道観光入込客数調査報告書」

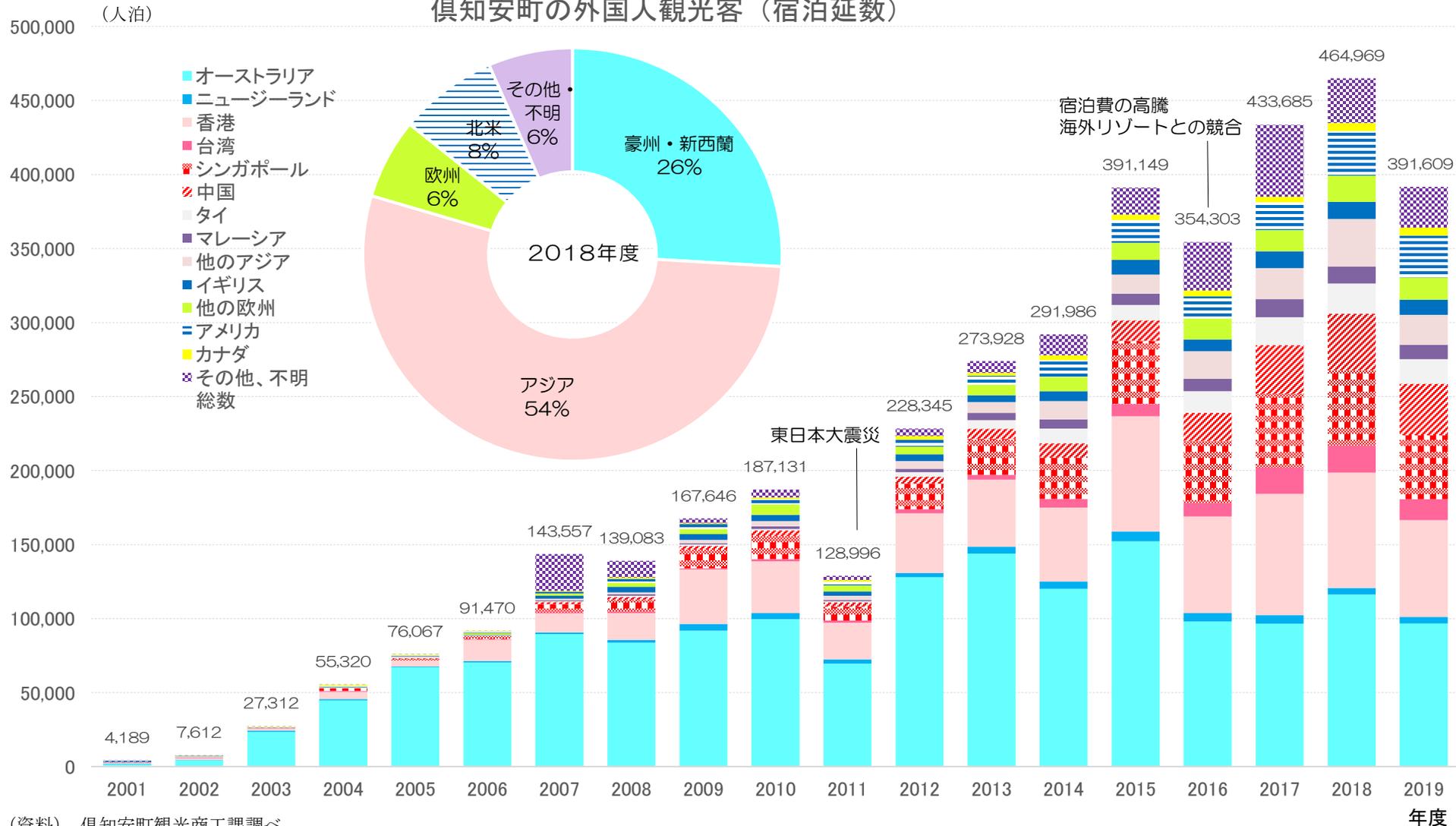
# 近年の倶知安町を訪れる観光客の動向



○ ニセコエリアにおける外資系ホテルやコンドミニアムなど宿泊施設の整備が進んでいることから、外国人観光客の宿泊延数は増加傾向にあります。

2018年度の外国人宿泊延数は46万人泊で2009年度に比べて2.7倍となりました。

倶知安町の外国人観光客（宿泊延数）





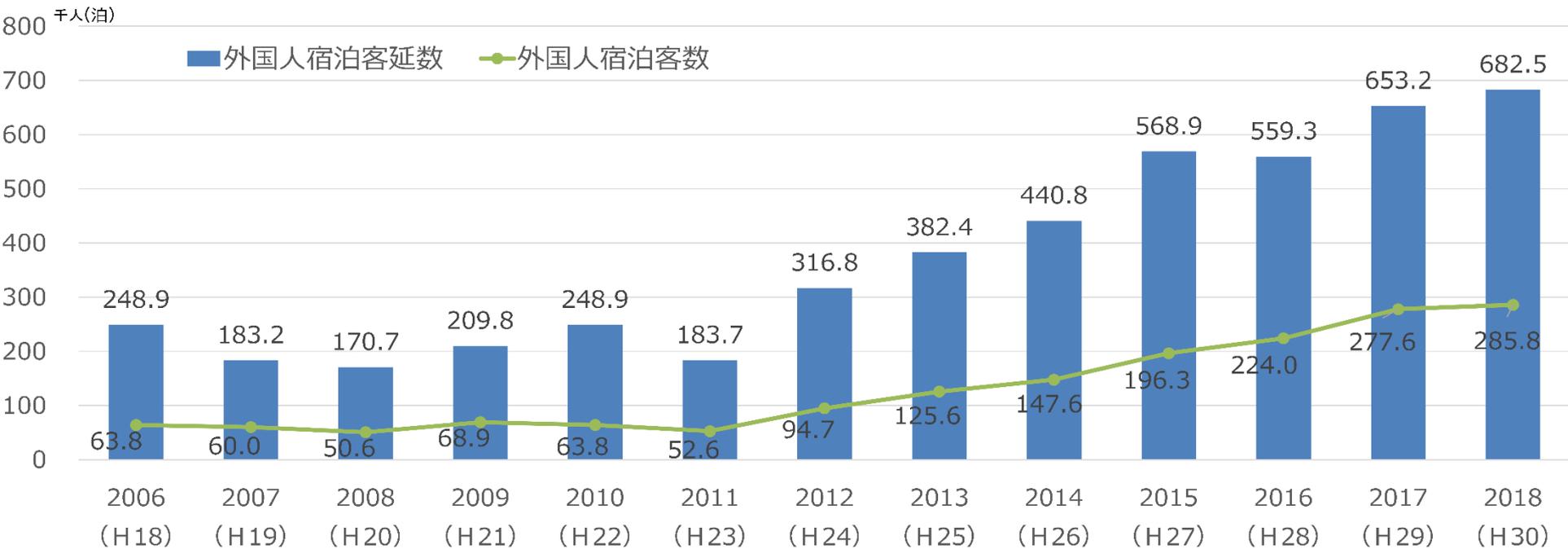
- 倶知安町の外国人観光客は、ニセコエリアを国際的なリゾート地に押し上げるきっかけとなったオーストラリアからの観光客が最も多くなっています。  
オーストラリアからの観光客は、滞在期間が長いのが特徴で、5年前までは平均宿泊日数も6日を超えていましたが、最近では、他の国の観光客に近づいてきています。
- 近年は、アジア諸国からの観光客も急速に増加しています。ニセコエリアでは、アジアの中でも、香港やシンガポールなど英語圏で富裕層が多いエリアからの来訪が多くなっています。
- この他、台湾、マレーシア、フィリピンなどの東南アジアやイギリス、フランスなどヨーロッパ各国も近年増加傾向にあります。

図 国別にみた外国人宿泊客の推移(倶知安町)

	国名	宿泊延数(人泊) (2018年度)	1年前 (2017年度)	10年前 (2008年度)	平均宿泊日数 (2018年度)
1	オーストラリア	116,164	96,545	83,665	4.09
2	香港	78,040	82,081	18,290	2.72
3	シンガポール	50,873	49,746	7,839	3.07
4	中国	38,230	32,817	1,962	2.31
5	アメリカ	30,209	18,686	2,866	3.58
6	タイ	20,335	18,880	1,039	2.67

○ ニセコエリアを構成する倶知安町、ニセコ町、蘭越町の3町の外国人宿泊客数(延数)も、2018年までは増加傾向にあります。

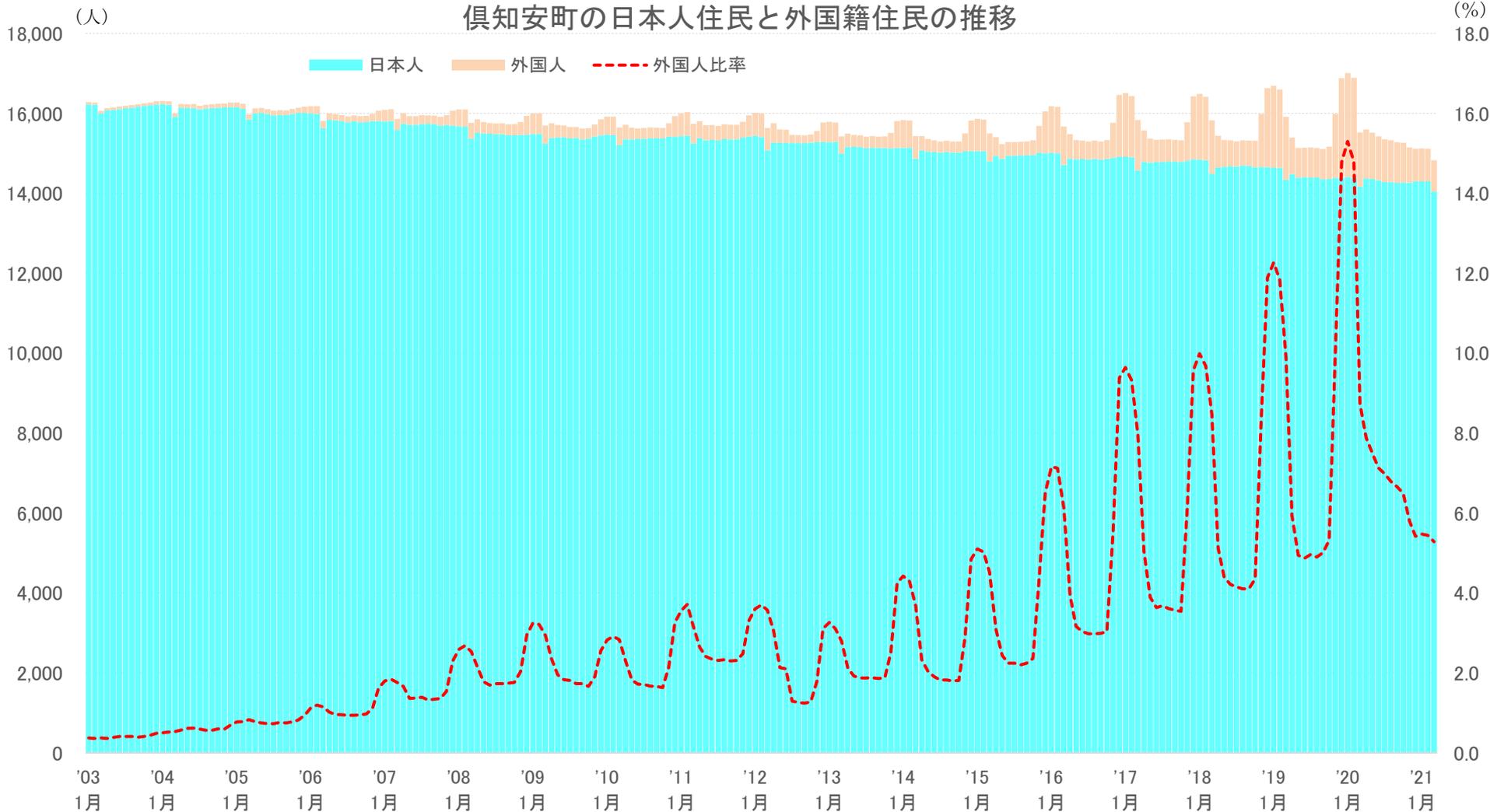
図 外国人宿泊客数と延数の推移(倶知安町+ニセコ町+蘭越町)



(資料) 倶知安町「倶知安町における投資状況と地域経済」(2020年1月 第2回スノーリゾートの投資環境整備に関する検討会資料より)



○ 近年のニセコエリアを訪れるインバウンドの増加や、外国資本による観光施設等への投資の急増を背景に、倶知安町の外国人住民も増加傾向にあります。

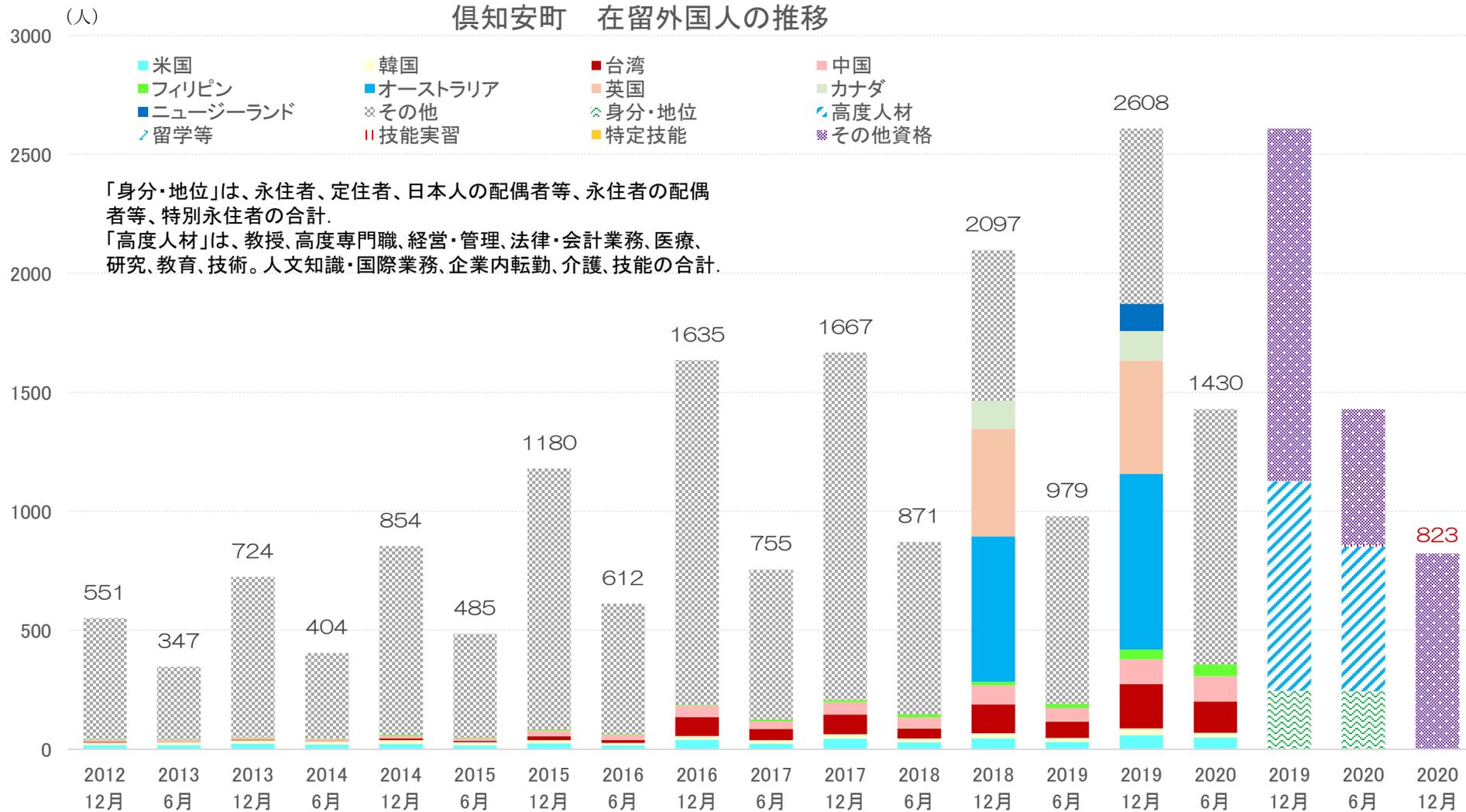


(資料) 倶知安町「住民基本台帳」より

# 倶知安町の在住外国人



- ニセコエリアでは、冬季に外国人観光客が集中する傾向にあることから、スキーインストラクターやホテル等で冬期間だけ働く外国人住民が増えています。
- 国別では、冬季には、オーストラリア、ニュージーランド、英国、カナダ、台湾等が多くなっています。



(資料) 法務省「在留外国人統計」

※ 2020年12月は、住民基本台帳より



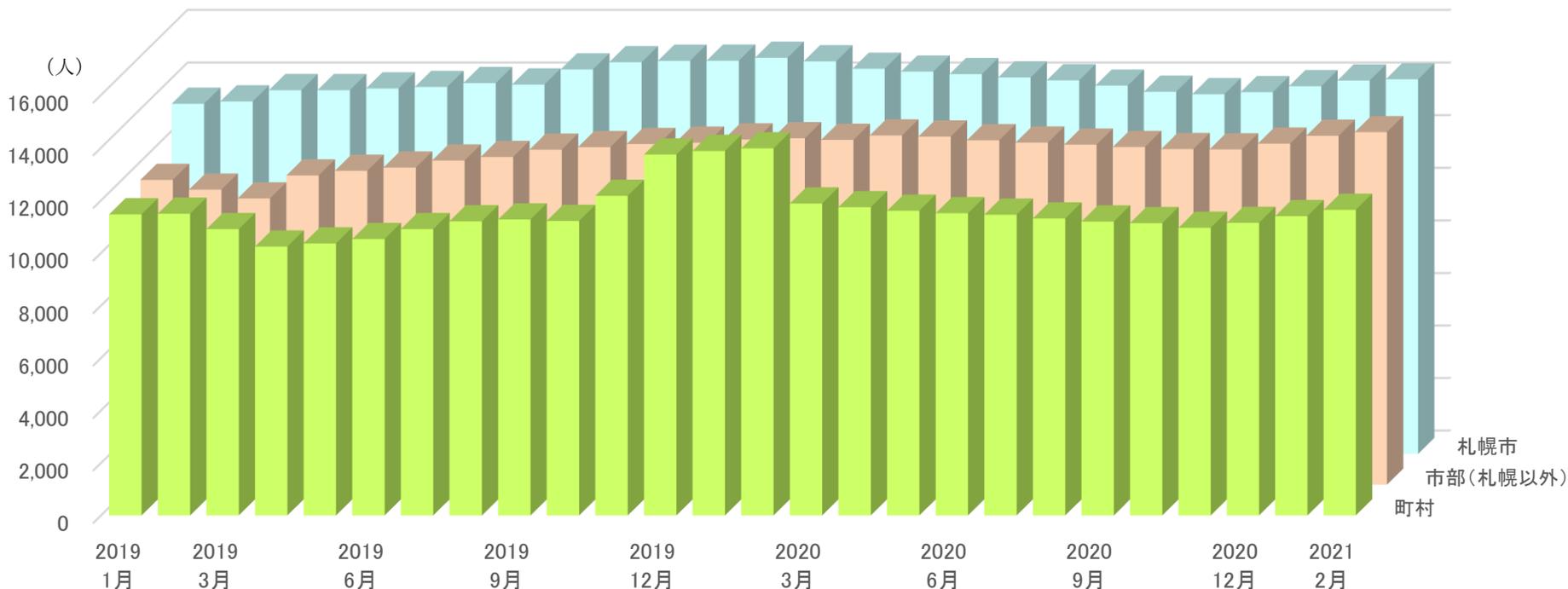
北海道の在留外国人は、市部、町村部とも、2019年までは年々増加傾向にありましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のための2020年2月1日以降の入国制限により、新規入国者数が減少したことから、2020年3月意向は減少傾向にあります。

札幌市では、2020年1月1日の14,968人から、2021年1月1日で13,976人と▲967人の減少となり、このうち「留学」が2020年1月1日の3,417人から、2021年1月1日の2,612人と▲805人の減少となっています。

町村では、ニセコ地区やトマム等の冬季リゾートを訪れる外国人観光客の急増を背景に、2019年にはリゾート地の町村で在留外国人も大きく増加しました。2020年2月以降はインバウンドが急減し、2021年に入ってもほぼゼロの状況で、冬季リゾートにおける外国人住民も前年に比べ大きく減少しています。

在留外国人の推移（北海道）

■ 町村 ■ 市部（札幌以外） ■ 札幌市



(資料) 総務省「住民基本台帳に基づく人口」



2020年に入ってインバウンド需要がほぼゼロとなり、ニセコ町、倶知安町、留寿都村、赤井川村、占冠村、新得町では、2020年末の外国人住民は前年末に比べて大きく減少しており、6町村の合計で▲2,693人となっています。冬季に外国人観光客が顕著に増加しています。

札幌市の外国人住民も前年末から967人の減少となっています。減少要因の大部分は、外国人留学生の減少(前年に比べ805人の減)によるものと考えられます。

その他、外国人富裕層が観光で訪れる富良野市や釧路市でも、外国人住民の減少がみられます。

北海道の2019年12月の「特定活動」は3,202人で、国・地域別では、欧州885人、豪州739人、台湾653人(小計2277人)でした。2020年6月には「特定活動」は2,146人(▲1056人)に減少し、欧州311人、豪州298人、台湾343人(962人)は▲1,315人の減少となりました。ここで、ベトナムは、133人から522人へと増加しています。

表 住民基本台帳による外国人住民の増減

	'19・6→'19・12	'19・12→'20・6 ①	'20・6→'20・12 ②	①+②	備考
北海道計	5,149	-2,769	-827	-3,596	
ニセコ町	374	-344	4	-340	
留寿都村	158	-168	4	-164	
倶知安町	1,757	-1,386	-289	-1,675	
赤井川村	99	-90	18	-72	
占冠村	229	-349	56	-293	
新得町	154	-128	-21	-149	
富良野市	40	-59	-2	-61	
釧路市	202	-82	-37	-119	
札幌市	995	-636	-331	-967	
東川町	30	-105	97	-8	

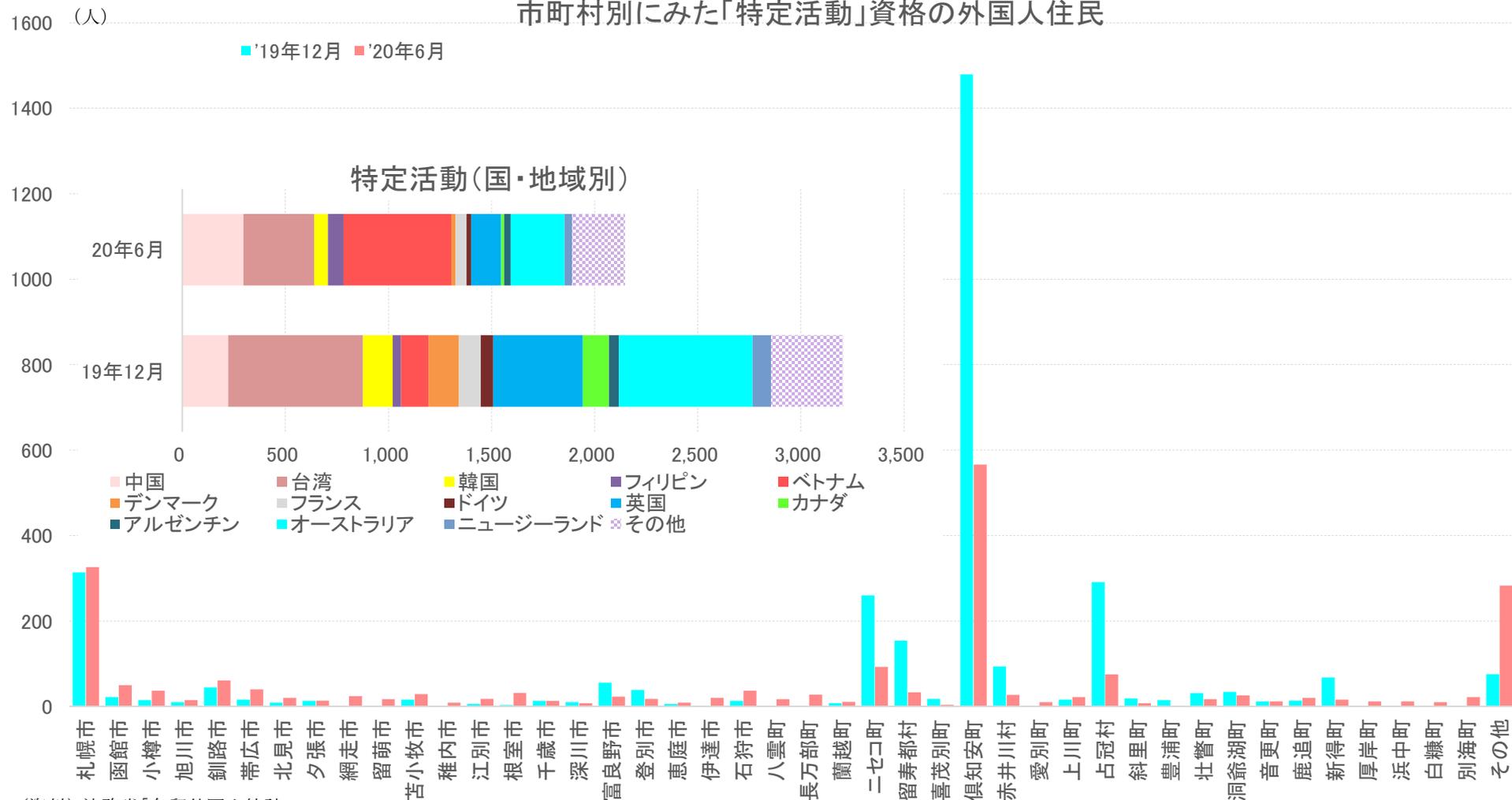
# コロナ禍の在留外国人



2019年末の「特定活動」資格の外国人住民は、倶知安町が1,479人と46%を占め、次いで、札幌市10%、占冠村9%、ニセコ町8%、留寿都村5%となっていました。国・地域別にみると、台湾653人(20.4%)とオーストラリア643人(20.2%)とで4割を占めているほか、英国、カナダ、フランスも100人以上となっていました。

市町村別にみた「特定活動」資格の外国人住民

特定活動(国・地域別)

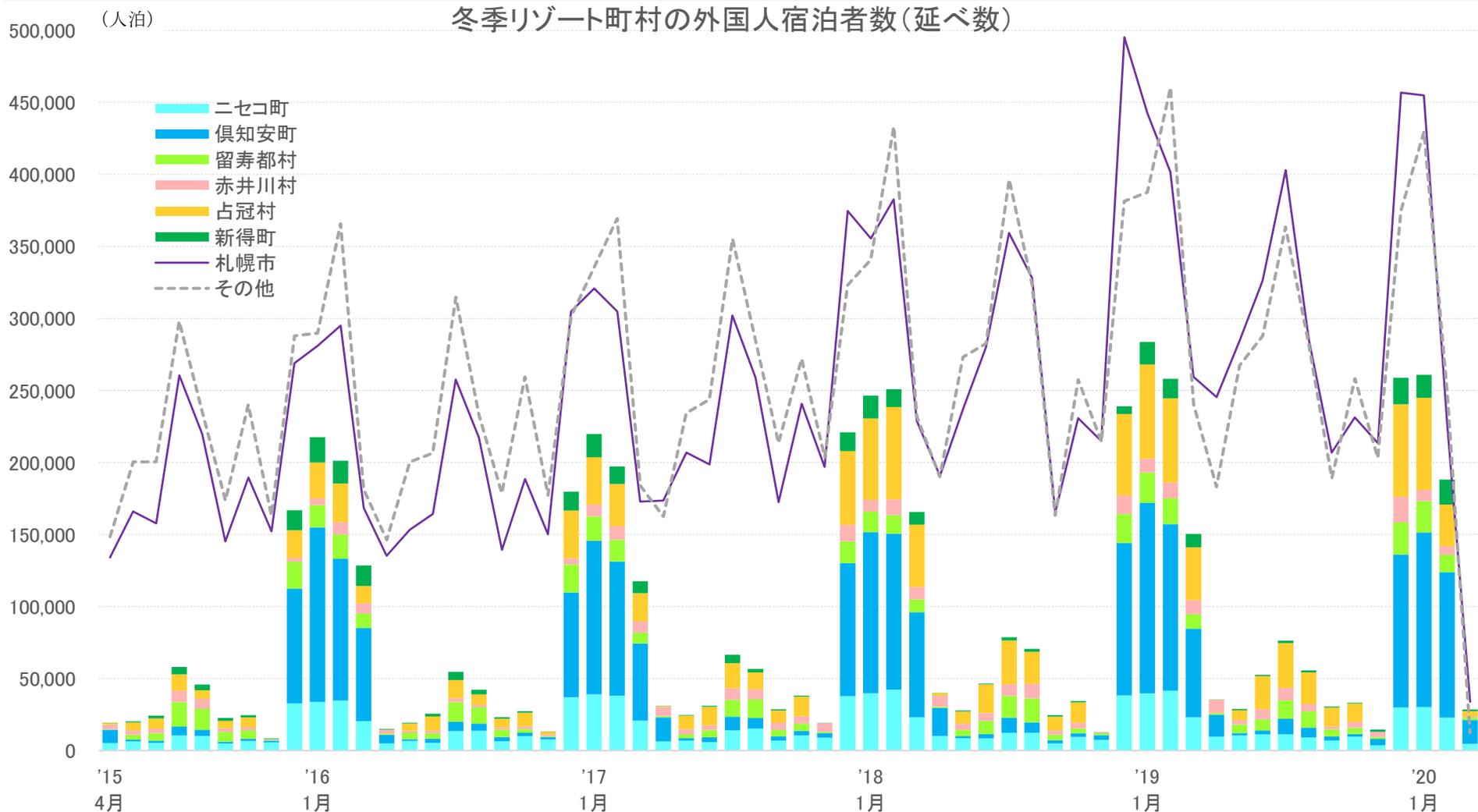


(資料) 法務省「在留外国人統計」

# コロナ禍の在留外国人～月別外国人観光客数（宿泊客）の推移



外国人観光客（延べ宿泊数）は、季節別にみると、夏季（6～9月）と冬季（12～3月）の2つのピークがあります。ニセコ町、倶知安町、留寿都村、赤井川村、占冠村、新得町では、冬季に外国人観光客が顕著に増加しています。



(資料) 北海道「北海道観光入込客数調査報告書」



## まちづくりアンケートの概要

- 実施期間 平成29年5月23日から平成29年6月30日まで
- 調査方法 平成29年5月1日に住民登録がある15歳以上の町民から無作為に抽出した2,000人にアンケート用紙を郵送し、記入後に返送していただく
- 回答数 650人(回収率 32.5%)

### 【 男 】

	重視すべき施策	重視しなくてよい施策
1	除排雪対策の充実	町全体の国際リゾート化
2	医療の充実	転入者への助成制度
3	公共交通の充実（バス・タクシー・JR）	男女共同参画の推進
4	雇用対策の充実	町内会や自治活動の活発化
5	防犯対策の充実	工業振興
6	子育て支援・少子化対策の充実	歴史・文化・芸術振興の充実
7	高齢者福祉・介護支援の充実	外国人であっても住みやすい町

### 【 女 】

	重視すべき施策	重視しなくてよい施策
1	除排雪対策の充実	町全体の国際リゾート化
2	医療の充実	転入者への助成制度
3	公共交通の充実（バス・タクシー・JR）	町内会や自治活動の活発化
4	高齢者福祉・介護支援の充実	男女共同参画の推進
5	防犯対策の充実	外国人であっても住みやすい町
6	障がい者（児）福祉・自立支援の充実	国内外観光客の誘致の促進
7	防災対策の充実	歴史・文化・芸術振興の充実



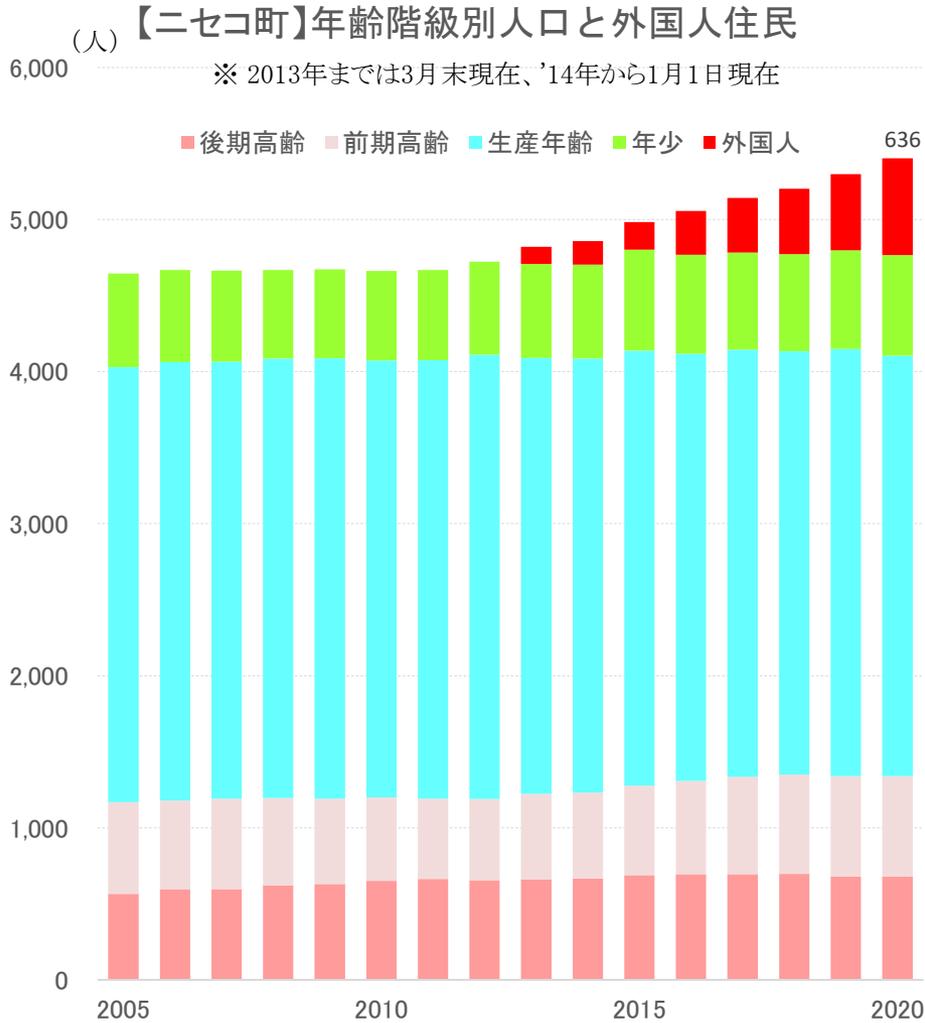
観光による経済効果は、直接的に住民生活の質向上に結びつくとも限らないため、住民にとってあまり明確なものとはなっていません。また、地価の高騰を背景に、賃貸住宅の賃料が上昇していたり、ひらふ地区の観光施設等の従業者などの市街地からの通勤時間帯に交通障害が発生するなど、負の側面が取りざたされることも少なくありません。こうした事態が、倶知安町住民の観光への嫌悪感に繋がっている面があります。

倶知安町では、G20観光大臣会合を契機に、道路沿いの電線地中化等の手法により、震災等での道路の防災性の向上や、通行空間の確保、さらには良好な景観形成を目指した取組が進められています。行政など事業主体とNTT東日本、北海道電力のほか地元経済界、観光関連団体からなる「倶知安リゾート無電柱化協議会」を設立し、円滑な無電柱化を行っています。また、インバウンドや外国人住民の増加など需要拡大を背景に、スーパーマーケットやホームセンター、家電量販店、ドラッグストアなど基礎的なサービスも充実されてきています。

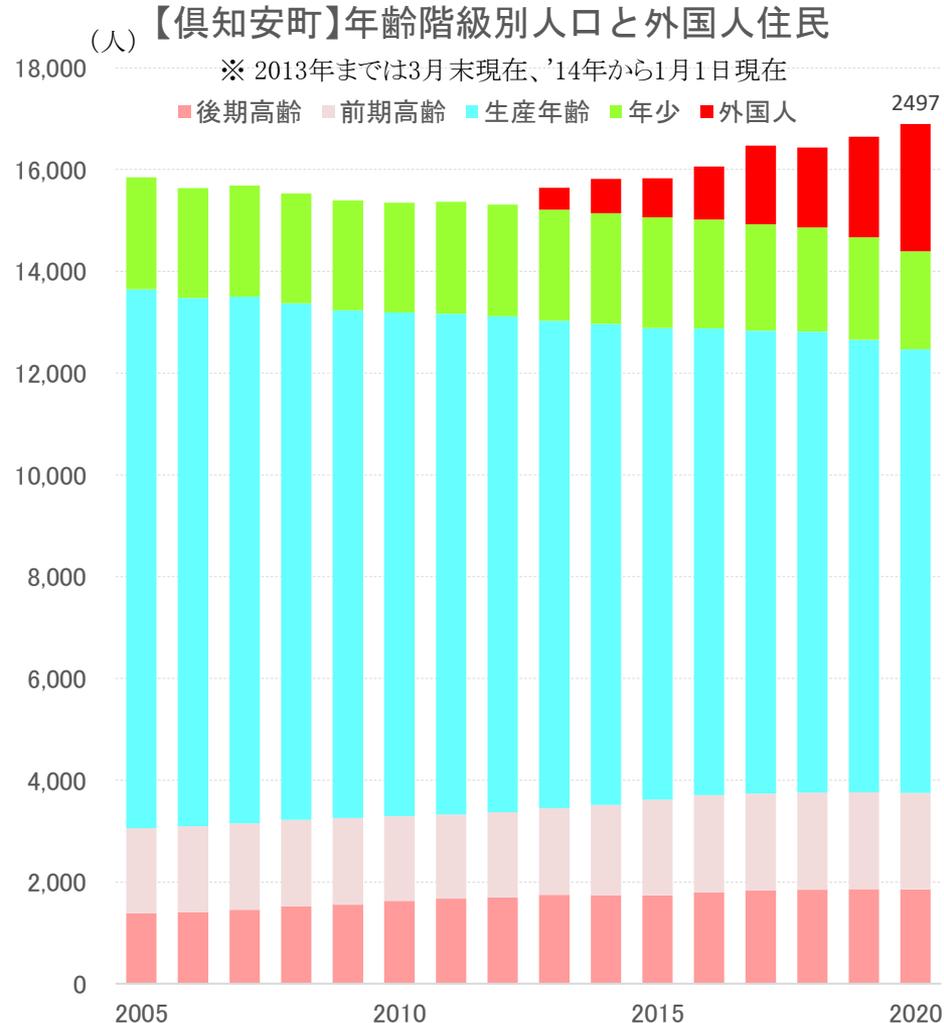
こうした公共空間の整備や都市的サービスの向上は、観光振興に伴う波及効果という側面が大きいいため、必ずしも、観光による「経済効果」として明確に認識されてはいません。



- 住民基本台帳によると、ニセコ町の日本人住民は、10年間で2.3%増加しました。高齢者人口は26%から28%に増加し、生産年齢人口は62%から58%に減少しています。
- 同じく、倶知安町の日本人住民は、10年間で6.2%減少しました。高齢者人口は21%から26%に増加し、生産年齢人口は64%から61%に減少しています。



(資料) 総務省「住民基本台帳人口」



(資料) 総務省「住民基本台帳人口」



- ニセコ町、倶知安町とも、近年は、インバウンドや公共投資の増加を背景に、町民税は個人、法人とも増加傾向にありました。
- 2020年度以降は、観光客の減少と外国人住民の減少により、予算ベースでは町民税が大きく減少しています。

